

津山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	世界史
科目基礎情報					
科目番号	0003		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	総合理工学科(先進科学系)		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	世界史B, 実教出版 最新世界史図説タバストリー, 帝国書院				
担当教員	角谷 英則				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人文・社会的科学的な視点から人間、社会、文化について多面的に理解し、国際社会の一員として社会的諸問題の解決に向けて主体的に貢献する自覚と素養を培う意識をもつこと。</li> <li>・人間活動や科学技術の役割と影響に関心を持ち、幸福とは何かを追究しながら、技術者として社会に貢献する自覚と素養を培う意識をもつこと。</li> <li>・日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的観点から理解できる必要性を理解すること。</li> </ul>					
ループリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		十分に授業に参加すること	2/3以上の授業に参加すること	10回をこえて欠席すること	
評価項目2		指示に十分に合ったレポートを提出すること	指示にある程度合ったレポートを提出すること	指示に合ったレポートを提出しないこと	
評価項目3		なし	なし	なし	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	日本列島をのぞく世界の歴史を中心に、日本列島との関係にも言及しながら概観する。膨大な学習対象の量に比して時間数は限られているため、時間・空間ともに適宜抽出した内容を扱うことになるが、本講義は比較史的視角をつねに意識しながらすすめる。				
授業の進め方・方法	通史的解説によって授業を進めるが、日本列島をのぞく諸地域の歴史という生活上の実感をもちにくい学習内容の性質上、映像資料をできるだけ用いる。年に数回、小課題への取り組みを求める。また、講義内容は受講者の状況などを参照しつつ柔軟に設定する。				
注意点	受動的態度による受講では学習に喜びを見いだすことは困難である。積極的に学習する意欲をもってはじめて学習成果は教養となることを銘記されたい。遅刻（開始時間におくれること）については受講者の自覚を求め、特段のペナルティはあたえない。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス		
		2週	●歴史学とはなにか（1）		
		3週	●歴史学とはなにか（2）		
		4週	●歴史学とはなにか（3）		
		5週	●歴史学とはなにか（4）		
		6週	●人類史の最初期段階		
		7週	●（前期中間試験）		
		8週	●オリエント世界と地中海世界の形成		
	2ndQ	9週	●南アジア世界の形成		
		10週	●東南アジア世界の形成		
		11週	●中央ユーラシア世界の形成と展開		
		12週	●東アジア世界の変動と再編		
		13週	●イスラーム世界の形成と拡大		
		14週	●ヨーロッパ世界の形成（前期末試験）		
		15週	●ユーラシア大帝国の出現		
		16週			
後期	3rdQ	1週	●世界をめぐる銀		
		2週	●アジア諸地域の栄華と成熟		
		3週	●琉球・アイヌからみた世界史		
		4週	●大規模な分業体制の成立		
		5週	●西ヨーロッパの覇権争いと世界的な分業体制の拡大		
		6週	●環大西洋革命／工業文明と国民国家の誕生		
		7週	●近代諸革命の意味		
		8週	●（後期中間試験）		
	4thQ	9週	●イギリスの覇権と欧米の国民国家建設		
		10週	●世界の一体化の進展とアジアの変容		
		11週	●世界の一体化の完成とその影響		
		12週	●世界大戦の時代		
		13週	●東西冷戦から多極的国際社会へ		
		14週	●相互依存を深める世界（後期末試験）		
		15週	●アメリカの覇権と盛衰		
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	課題	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	100	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	100	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0